

学術団体名：公益社団法人 応用物理学会

学術刊行物の名称：Applied Physics Express/Japanese Journal of Applied Physics

事業期間：平成25年度～平成29年度

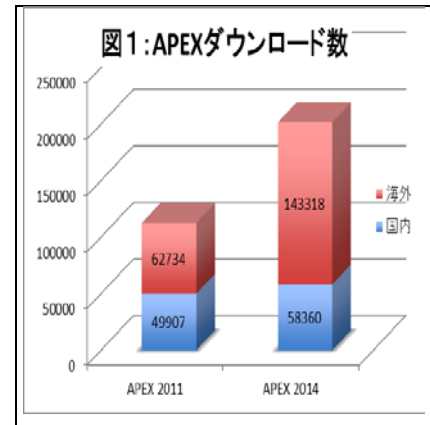
1 取組の概要

- ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

商業出版社あるいは学会出版社とも欧米の寡占化が進む中で、日本の学会が出版する論文誌が国際的に一定の地位にあることは、学術成果報告の場として極めて重要である。そのため、掲載論文の質の向上を最重点課題として取り組み、国際情報発信の強化を図る。

- ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

- 1) 論文ダウンロード数：前年度比10%増を目標とし、5年間その目標を継続する。
- 2) 海外を中心とした論文投稿数：前年度比20%増を目標とし、5年間その目標を継続する。



2 目標の達成状況

- ・現在までの目標の達成状況

- 1) 論文ダウンロード数（図1）
APEX：112,641→201,678（平成23年比179%）
JJAP：880,585→1,002,000（平成23年比113%）
- 2) 投稿論文数（図2）
APEX：1,188→1,586（平成23年比133%）
JJAP：2,988→2,002（平成23年比67%）

- ・今後の計画

- 1) JJAP招待論文や特集企画を充実することにより、投稿数の増加を図る。
- 2) APEX審査期間のさらなる短縮により、投稿数の増加を図る。
- 3) 海外レフリーへの依頼を増やすことにより、海外での認知度を高める。

